

漁況情報 No.24 平成 20 年 1 月 9 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

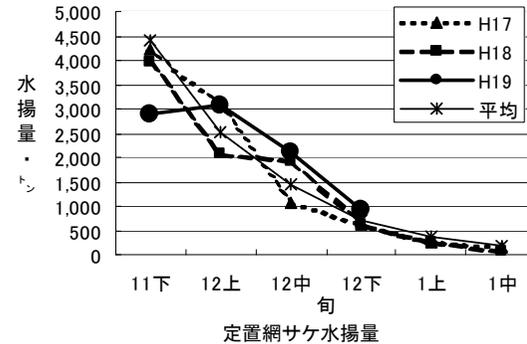
*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

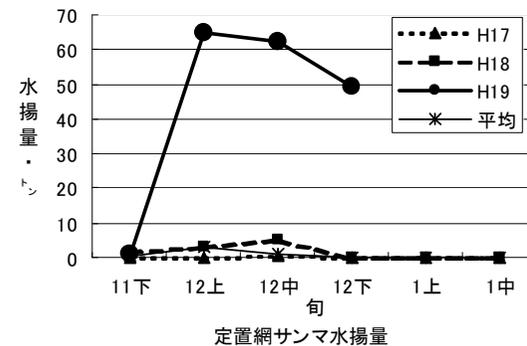
サケ(定置網)の水揚げは前年を上回っています。
サンマ、スルメイカ(定置網)の水揚げは好調を維持しています。

1. 水揚げ状況

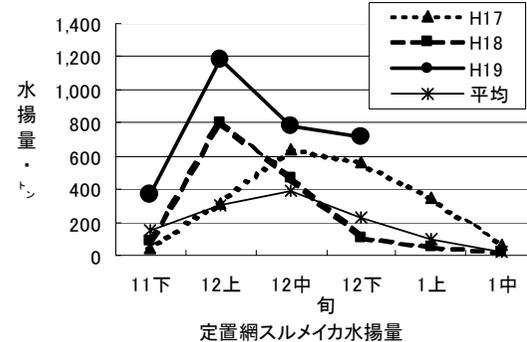
(1) サケ(定置網)は宮古を中心に水揚げがあり、12月下旬の水揚げ量は937トン(前年同期の1.4倍)でした。また、12月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は689トンで、旬水揚げはその1.4倍でした。年累計は16,741トン(前年同期並)です。



(2) サンマ(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、12月下旬の水揚げ量は49トン(前年同期の228倍)でした。また、12月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は0.1トンで、旬水揚げはその672倍でした。年累計は211トン(前年同期の2倍)です。



(3) スルメイカ(定置網)は宮古、山田、釜石を中心に水揚げがあり、12月下旬の水揚げ量は714トン(前年同期の6倍)でした。また、12月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は232トンで、旬水揚げはその3倍でした。年累計は4,756トン(前年同期の1.5倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎サバ類精密測定結果

12月下旬に水揚げされたサバ類(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。体長26~29cmの小型魚主体でした(図1)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあります(判別方法は漁況情報No.9参照)。今回測定したサバの組成はマサバ:ゴマサバ=1:9で、ゴマサバ主体の傾向が続いていました。

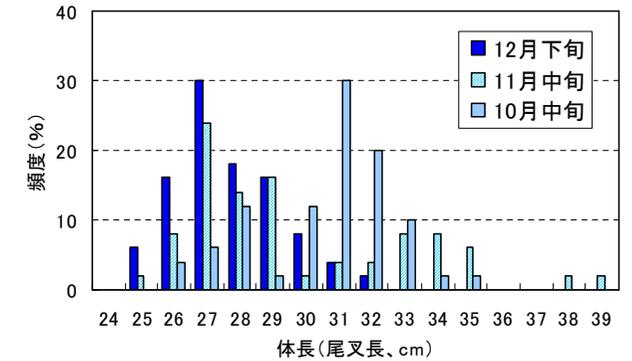


図1 サバ類体長組成

◎スルメイカ精密測定結果

12月下旬に水揚げされたスルメイカ(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。体長は24~26cm主体で、12月上旬とほぼ同様でした(図2)。また、オス、メスともにほぼ全ての個体が成熟していました。

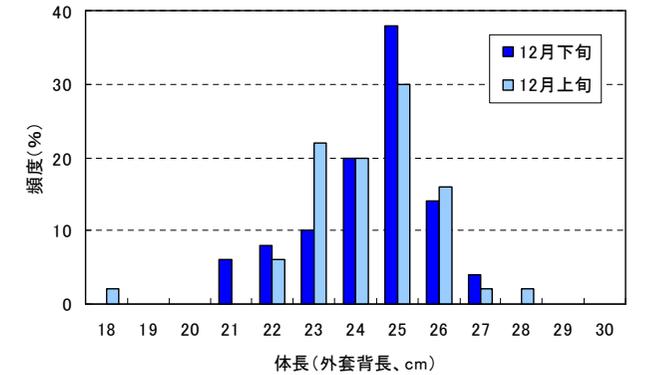


図2 スルメイカ体長組成

3. 調査船運航計画(1月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	ドック	1/4~18
	沿岸定線海洋観測調査	1/22~23
	底曳網調査	1/25~31
北上丸	ドック	1/4~25
	仔稚魚・動物プランクトン調査	1/29~31

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。